



令和元年7月24日
海上保安庁

世界に羽ばたけ、海保仕込みの船乗りたち！ ～アジアの海上保安機関職員が海上保安大学校練習船「こじま」で 乗船研修を行います～

世界一周の遠洋航海実習中の練習船「こじま」において、7月28日（日）のベトナム（ダナン）出港から8月3日（土）の呉入港までの間、アジアの海上保安機関職員6名（内女性2名）が乗船研修、交流プログラム等に参加します。

今年で15回目、受入れ研修生72名を数える本研修は、専用の大型練習船を持たないアジア各国の海上保安機関職員にとって、貴重な乗船研修の場となっています。

海上保安庁では、これらの取組みを通じ、インド太平洋地域における法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序の維持・強化に寄与していきます。

1 概要

フィリピン、マレーシア、ベトナムの各国海上保安機関から2名ずつ選抜された若手職員計6名（内女性2名）は、練習船「こじま」乗船中、海上保安大学校実習生と練習船船内において寝食を共にし、航海当直、船上機器取扱い訓練等を通じ船舶運航技術の向上を図るとともに、各種交流プログラム等を通じ交流を深めます。

呉入港後、フィリピン、マレーシアの若手職員4名はJICA支援のもと、当庁の施設見学も実施します。本研修は、「海上保安庁モバイルコーポレーションチーム」職員1名を派遣し、船内生活、訓練研修の支援にあたることとしています。



練習船こじま



昨年の乗船研修の様相

2 スケジュール

・ 7月28日（日）

若手職員6名「こじま」乗船、ベトナム（ダナン）出港
以後、乗船研修

・ 8月3日（土）

呉入港

以後、フィリピン、マレーシア海上保安機関職員による海上保安大学校、第三管区海上保安本部横浜海上防災基地、東京湾海上交通センター等施設見学

・ 8月9日（金）

乗船研修活動報告、修了証書授与等（本庁）



昨年の乗船研修の様様

※海上保安庁モバイルコーポレーションチーム（MCT）

平成29年10月に発足した、海上保安国際協力推進官を責任者とする能力向上支援の専従部門（海上保安庁モバイルコーポレーションチーム）。現在10名体制。支援対象機関の職員と共に、必要な支援内容を協議する等、信頼関係を構築しながら支援対象機関の要望にきめ細かく対応し、より一貫性・継続性のある能力向上支援を実施することで、相互の能力向上を図っている。